

| | | | | |
|--------------------------|---|--|---------|-------------------------------------|
| 1. 科目名 (単位数) | 福祉と経営Ⅰ (2単位) | | 3. 科目番号 | SBMP1130 |
| 2. 授業担当教員 | 孫 維維 | | | |
| 4. 授業形態 | テキストを輪読し、その内容について教員による解説を加え、必要に応じ、受講生によるディスカッションを行う。 | | 5. 開講学期 | 春期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 福祉と経営Ⅱと関連している。 | | | |
| 7. 講義概要 | 社会福祉分野と経営分野は別々に発展した学問領域ではあるが、実は密接な関係性がある。社会福祉事業が機能するためには適切なマネジメントが図られる必要があるからだ。つまり、営利を目的としない福祉の現場においても、社会福祉施設が適切に運営されていくためには、適切なマネジメントが行われることが必要である。それだけではなく、一般企業においても、従業員の福利厚生やメンタルヘルスの向上の視点から、福祉マインドを持ったスタッフが求められ始めている。 そこで、本講座では、適宜補足レジュメ等を用いながら、まず福祉マインドの醸成を目的としてまずは介護業界に絞って福祉における経営課題を学び、それぞれの解決策について考える。 | | | |
| 8. 学習目標 | ・福祉(介護)業界の実態を理解できるようになる。 ・福祉(介護)業界における経営課題について理解できるようになる。 ・福祉(介護)業界が取るべき経営戦略のあり方を理解できるようになる。 | | | |
| 9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題 | 講義内容に応じてアサインメントとレポート課題を課すことがある。 期末テストが行わないが、レポート課題が課す。 | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 教科書 福祉と経営Ⅰテキスト (初回授業中に周知) 参考書 馬場博編『はじめて学ぶ介護福祉のマネジメント』日本医療企画、2015 年。 | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | ○成績評価の規準 1. テキストの輪読や小テストを通じて、福祉業界について理解できたかどうか 2. レポートを通じて、福祉業界における経営課題について理解し、取るべき経営戦略を考えることができるか ○評定の方法 授業への積極的参加度 40％ レポート 30％ 小テスト (毎回冒頭10分) 30％ | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | 1. (ZOOM 授業の場合) 授業中はビデオおよびカメラを ON にすること。 特段の理由なくビデオを ON にせず、かつ教員からの呼びかけにマイク等で反応しない学生は欠席扱いとする。 (対面授業の場合) 授業中にスマホ、私語、居眠りの多い者は教壇最前列に座らせ、担当教員による厳重な監督下におく。 2. 期末レポート課題を出題するが、提出期限はその際に知らせる。期限経過後の提出は一切認めない。また提出されたレポートは後日発表してもらう。 3. 将来、福祉や様々なサービス業務でチームリーダーや管理職に携わる際に役立つ有効なセンスを磨く、という意気込みで講義や演習に臨んでほしい。 4. 授業中、積極的に自分の考えを持ち発言すること。講義・演習を単に学課を学ぶ場としてではなく、自分の考えをまとめ、発言する、文書化する、といった今後の学生生活や社会生活に必要なトレーニングの場と考えること。 5. 理解が不十分な点については放置せず授業中やオフィスアワーを利用して積極的に質問すること。 | | | |
| 13. オフィスアワー | 初回目に知らせます。 | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | | 学習課題 | |
| 第1回 | 福祉と経営への招待 ー講義内容、講義の進め方、福祉法人の全体像 | | 事前学習 | 自己紹介準備、福祉サービスに関する身近な事例を探す。 |
| | | | 事後学習 | 福祉法人と企業法人の違いをまとめる。 |
| 第2回 | 超高齢社会における高齢者生活 | | 事前学習 | 高齢者比率を調べる。 |
| | | | 事後学習 | 人口構造変化による課題を復習する。 |
| 第3回 | 介護サービス市場の成長と課題 | | 事前学習 | 介護利用者人数、介護給付費の変化を調べる。 |
| | | | 事後学習 | 介護市場の拡大と課題を復習する。 |
| 第4回 | 介護保険制度と法改正のポイント | | 事前学習 | 介護保険制度の核心と基本的考え方を調べる。 |
| | | | 事後学習 | 介護保険制度の仕組み、基本的考え方を理解し、改正のポイントをまとめる。 |

| | | | | |
|--------|---|------|---|--|
| 第 5 回 | 福祉多元主義と福祉サービス供給主体の多様性 | 事前学習 | 福祉多元主義とは何かを調べる。 | |
| | | 事後学習 | 供給主体の特徴をまとめる。 | |
| 第 6 回 | 介護サービスの種類と特徴 | 事前学習 | 介護サービスの種類を調べる。 | |
| | | 事後学習 | 介護福祉サービスの種類と特徴を復習する。 | |
| 第 7 回 | 地域包括ケアシステム | 事前学習 | 地域包括ケアシステムを調べる。 | |
| | | 事後学習 | 自助、互助を理解する。 | |
| 第 8 回 | 介護福祉サービスにおける行政機関の役割 | 事前学習 | 国、地方政府の介護福祉サービス提供事例を調べる。 | |
| | | 事後学習 | 行政機関の役割と業務を復習する。 | |
| 第 9 回 | まとめ：地域共生社会の構築 | 事前学習 | 地域共生社会構築の実施例を調べる。 | |
| | | 事後学習 | 地域需要の把握とサービス提供を理解する。 | |
| 第 10 回 | 介護サービス事業の経営と経営資源の活用 | 事前学習 | 介護福祉事業経営の在り方を調べる。 | |
| | | 事後学習 | 介護福祉事業の経営ポイントを復習する。 | |
| 第 11 回 | 介護サービス事業経営に必要な 6 つの要素（１） —利用者、経営理念、サービス提供プロセス— | 事前学習 | 参考書 pp. 98～121 を読んでくること。 | |
| | | 事後学習 | PDCA サイクル、情報公開、リスクマネジメントなど「利用者」満足にかかわること、および経営理念について理解する。 | |
| 第 12 回 | 介護サービス事業経営に必要な 6 つの要素（２） —組織、職員管理、財務管理— | 事前学習 | 参考書 pp. 121～128 を読んでくること。 | |
| | | 事後学習 | 「職員」管理、「財務・コスト」管理を理解する。 | |
| 第 13 回 | 介護サービス事業経営事例研究 | 事前学習 | ニチイ学館と SOMPO ホールディングスを調べる。 | |
| | | 事後学習 | 事業経営の特徴と課題を理解する。 | |
| 第 14 回 | 介護関連技術の進展と活用 | 事前学習 | 介護関連技術を調べる。 | |
| | | 事後学習 | 技術の導入と活用に関わる課題を復習する。 | |
| 第 15 回 | まとめ：福祉事業展望と社会責任 | 事前学習 | まとめと問題の整理。 | |
| | | 事後学習 | 福祉サービスの経営に関し自分なりの知見が持てたか振り返る。 | |